

草加市倫理法人会(6月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

六月四日(木) 第九〇四回

◇・講師 小林 慶子 (株)愛喜 代表取締役 幹事

◇・テーマ 「倫理を学んで幸せを知る」



一緒に住んでいた娘婿が家を出てしまった時に倫理指導を受けて、娘婿のことではなく自分たち夫婦が仲良くすることが大切と言われ、実践をしたら、娘婿が家に戻ってきました。また、息子が後継者倫理塾で学んでいるときには、私の誕生日にケーキを作ってくれ、「お父さんお母さん、自分を生んでくれてありがとう」と言ってくれました。そしてふたりで泣きながら抱き合いました。実践をし続けてもうまいかない時もありますが、倫理を学ぶ以前に比べて子供に対して「ありがとう」と言う事が多くなり、いろいろな事を話せるようになりました。そして、倫理をやっていることは、人生を学んでいることだと強く感じるようになりました。



吉岡 明夫 記

六月十一日(木) 第九〇五回

◇・講師 畔高 敦司 (一社)倫理研究所 法人アドバイザー (株)ミツワ 代表取締役会長

◇・テーマ 「家庭の愛和が事業繁栄の基」



倫理法人会は、千葉県からスタートした法人会である。また、後継者倫理塾も千葉県が最初に開講した研修塾である。物事をを行う時は、挨拶を元気にすることで相手も真剣に話を聴こうとしてくれる。「人生で誰が一番大切か」と問うと、妻とか親とか子どもとか答えるが、皆自分が一番大切なのである。だから自分を支えてくれる妻や家族を大切に思うのである。イヤな事があっても人間は守るものがあるから頑張るのである。夫婦というものは人口九十億の中から選んだ、たった一人の伴侶である。商売を始めた時は、社会のためとか、人のためとかではなかった。二十歳のかわいい妻を守っていくため、苦勞させないために始めたのである。その後、会社が大きくなり、社員のめだたのである。その後、会社が大きくなり、社員のため、その家族のために頑張ってきた。社長の肩書に人は集まってくるが、肩書がなくなった時、そばにいてくれるのは妻だけである。

住田 浩一 記

六月十八日(木) 第九〇六回

◇・講師 宝 武紀 草加市倫理法人会五代目 会長

◇・テーマ 「倫理にふれて」



昭和十五年、長野県善光寺のふもとで産まれ、幼年時代から大工さんに憧れ昭和三十五年に上京、修行、清掃、親孝行の日々を送りました。十年後の昭和四十五年に独立し、社屋も自分で建てその時に中央住宅様と出会い現場監督や営業をやらせていただき、月六棟販売した事もありました。越谷市、岩井市の工場責任者に任命され軌道に乗せ、次は水道工事業に参入しました。知人に教わりながら平成元年にスタートし、家族の協力のおかげで出来たことに本当に感謝です。まさにやれば出来るの実践を行ってきました。倫理歴は草加市準倫理法人会設立の平成八年から現在まで十九年のキャリアで平成十三年には百六十社の会長を三年間務めました。現在は家庭倫理の会に参加し日々の実践に取り組んでいます。宝氏の優しさの中に厳しい信念を持つ姿は倫理を学ぶ先輩として尊敬し、感動しました。

白井 義臣 記

六月二十五日(木) 第九〇七回

◇・講師 齋藤 和宏 (一社)倫理研究所 法人アドバイザー 齋藤製缶(株) 相談役

◇・テーマ 「企業の体質と人の体質」



人間の体質イコール企業の体質である。平素の経営の甘さが企業の体質を作り出す。「企業は人なり」と言われるが生活習慣病は人だけの病気ではない。毎日、少しづつの行動の差が体質を作っていく。自己管理がしっかりしていない人は病にかかり企業は淘汰される。人を育てるのが企業の使命、教育が大切である。人間としての道義や倫理観、また心理や性格からその人の考え方を知る。その上で仕事に必要な知識や技術をバランスよく養わせていくことが大切である。企業は人が経営し、人が成長させたり破綻させたりしている。組織や人材は経営者の一部、その細胞の一つ一つがどれだけ生き生き活動するかによって、企業の業績が決まる。故に、社長業は人材育成である。



風間 利高 記

モーニングセミナー
毎週木曜
AM6:00~7:00

(会場) 埼玉屋旅館内
草加市高砂1-10-13
Tel 048-922-4141

(お問い合わせ先) 草加市倫理法人会 事務局
八潮市柳之宮196-14 (有)アイビルド設計内
Tel 048-998-8868 (HP): <http://www.rinri-soka.org/>